

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	85	事務事業名 (中事業名)		スポーツ教室開催事業 ()					
予算科目	10	06	01	大事業	03	中事業	00	担当課名	スポーツ振興課
総合計画施策コード	351		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	西尾市スポーツ教室開催・運営要綱						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	普段スポーツをする機会のない市民にスポーツを始めるきっかけをつくり、市民のスポーツ実施率を向上させる
事業の対象 (誰(何)のために)	西尾市在住、在学、在勤者
事業の概要 (具体的に何を)	一年のうち春期10回、秋期10回、冬期8回を基本とし、様々な教室を開催をしている。バドミントンやエアロビクスなど高校生以上の男女を対象にしたものから女性を対象にした体操教室、小学生を対象とした卓球やスケートボード教室、幼児を対象とした運動教室、親子を対象にした体操教室などを行う。西尾市スポーツ協会へテニスや弓道などの教室を委託をしている。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	9,529,932円	4,686,481円	5,715,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	1,453,290円	1,456,556円	
総事業費③(①+②)	10,967,444円	6,139,771円	7,171,556円	
総財源業内費③の	使用料・手数料	3,915,200円	1,932,000円	4,303,740円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	6,652,244円	4,207,771円	2,867,816円
	その他 助成金	400,000円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-4,827,673円	R2 総事業費③の対前年度比率	-44.02%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要		金額
	謝礼	スポーツ教室講師謝礼		1,681,500円
	委託料	スポーツ協会委託料		591,600円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	スポーツ教室受講者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	1,400	人	1,220	人	1,260	人
	実績値	1,259	人	640	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	スポーツ教室教室数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	60	教室	47	教室	49	教室
	実績値④	47	教室	28	教室	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		233,350円	219,278円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	西尾市スポーツ協会へテニスや弓道教室
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	初心者・未経験者向けに開講しているスポーツ教室は、スポーツを始めるきっかけとなり、市民のスポーツ実施率を向上させるために必要な事業であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			◎	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			◎	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		新型コロナの影響により受講者数を制限しなければならない教室もあったが、小学生以下が対象の教室は、抽選を行うことが多く、一定の成果があったといえる。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	一定の参加者数が見込めるため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	令和3年度より協会が設立されている卓球とバドミントン教室を(一社)西尾市スポーツ協会へ委託し、委託事業を拡充した。今後も委託できる事業の拡充を検討していく。					
事業全体の課題	新型コロナの影響により、受講者数が左右されやすい。また、教室内容により申込者数に差があるため、ターゲット層を絞るなど市民ニーズを把握した教室内容を計画していく必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市…一般対象の健康体操、ラージボール卓球、エアロビクスなど1教室10回から13回の教室があり、参加費3,400円から5,600円。親子体操・親子体操は1教室10回から12回の教室があり、参加費5,300円から5,800円。
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	近年話題となっているスポーツ教室を開催して欲しい。
-----------------	---------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	オリンピックで話題となった競技を取り入れたり近隣市町の開講教室の情報収集に努め、教室内容の刷新を図る。
--------	-----------------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	86	事務事業名 (中事業名)		学校体育施設開放事業 ()					
予算科目	10	06	01	大事業	04	中事業	00	担当課名	スポーツ振興課
総合計画施策コード	351		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	西尾市内学校体育施設スポーツ開放実施要綱						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	スポーツの普及および市民の体力向上のため市内の学校体育施設を一般開放
事業の対象 (誰(何)のために)	市内に在住在勤または在学しているおおむね10名以上で構成された登録団体に施設を開放
事業の概要 (具体的に何を)	市内のスポーツ施設の不足を補い、市内の小中学校及び高等学校を学校側に支障のない範囲で市民に開放

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	15,965,530円	16,263,258円	14,185,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	1,453,290円	1,456,556円	
総事業費③(①+②)	17,403,042円	17,716,548円	15,641,556円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	3,823,590円	4,726,410円	4,956,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	13,579,452円	12,990,138円	10,685,556円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	313,506円	R2 総事業費③の対前年度比率	1.80%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	謝礼	学校体育施設開放管理指導員謝礼	7,069,500円	
	委託料	学校体育館ワックス掛け業務	2,895,258円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	学校開放登録団体数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	170	団体	170	団体	170	団体
	実績値	134	団体	176	団体	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	学校体育施設利用人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	133,000	人	133,000	人	133,000	人
	実績値④	125,886	人	95,021	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		138円		186円		*****	

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	年間約13万人の利用者があり、今後も引き続き継続する必要がある事業のため。		

評 価

●個別評価【CHECK】◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か		◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	利用団体数は増加傾向にあり、多くの市民に利用していただいている。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	利用団体数が、増加傾向にあり多くの市民に利用していただいているため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	予定なし。					
事業全体の課題	新型コロナの影響により、事業の縮小実施や一時中止などをしなければならないことがある。また、夜間照明設備が経年劣化しているが、修繕に多額の費用を要する。利用状況を踏まえて、社会体育施設として今後も利用していくのか検討していく必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市：開放校は7校。開放時間は平日18時から21時、休日9時から21時。運動場の使用は無料。屋内施設の使用料は学校により異なる。屋外照明使用料は1時間を超過する場合の超過料金は30分単位で加算。
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	バドミントンのネットや支柱などの備品が壊れている。ネット等の保管場所が分かりにくい。
-----------------	--------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	使用備品の破損や故障の報告があった場合は、支給現場を確認する。また、全ての開放校に運営委員をおいているため、器具庫の整理を依頼する。
--------	--------------------------------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	87	事務事業名 (中事業名)		スポーツ大会開催事業 ()					
予算科目	10	06	01	大事業	05	中事業	00	担当課名	スポーツ振興課
総合計画施策コード	351		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市民の健康の保持増進及び体力の向上を目指すため、スポーツ大会を開催することにより、多くの市民に参加の機会を与え、日々の生活の中にスポーツすることを浸透させる。
事業の対象 (誰(何)のために)	西尾市民が中心であるが、にしおマラソン大会やにしお駅伝フェスティバルなどは広く県民にも呼びかけ西尾市をPRする。
事業の概要 (具体的に何を)	種目ごとの大会の支援を行う。さらに、安全対策として小・中学生が参加する大会には看護師等を置くなどの支援を行う。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	30,916,636円	26,454,972円	138,017,390円	
事業にかかる人工	0.90人	1.00人	1.20人	
事業にかかる人件費②	6,468,802円	7,266,452円	8,739,334円	
総事業費③(①+②)	37,385,438円	33,721,424円	146,756,724円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	20,676,082円	27,211,424円	58,415,334円
	その他 参加費等	16,709,356円	6,510,000円	88,341,390円
R2 総事業費③の対前年度差額	-3,664,014円	R2 総事業費③の対前年度比率	-9.80%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	にしおマラソン(フルマラソン)の開催準備のため			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	その他委託料	市民体育大会始め4件	19,944,972円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	参加者数(大会役員数含む)と入場者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	23,000	人	23,000	人	23,000	人
	実績値	16,795	人	7,711	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	スポーツ大会開催数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	28	種目	28	種目	29	種目
	実績値④	28	種目	19	種目	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		1,335,194円		1,774,812円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	大会運営全般
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和3年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	将来に渡って、継続すべき事業であるとの観点から。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	—
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	◎	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	マラソン・駅伝大会は、市外からも多くの参加者を募り、開催又は開催の予定であり、スポーツと地域振興の推進も念頭に置き開催する。市民大会は多くの市民が参加した。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	既存の大会は多くの市民が参加しており、生活の中にスポーツをすることが浸透してきている。また、県下唯一の男女フルマラソンとしてスポーツと地域産業に寄与する。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	全て民間委託している。				
事業全体の課題	新型コロナウイルス感染予防対策により多くの大会が中止となっている。先の見込みが立たない。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市シティマラソン・市民駅伝 2大会合算総事業費1,420万円(市からの補助金890万円) H30競技参加者人数 ・シティマラソン 3,275人 ・市民駅伝 1,645人
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	パラスポーツとして、一色マラソン大会への車椅子の参加を継続してほしい。フルマラソン大会が開催される際には市内在住枠を作ってほしい。また大会にゲストランナーを呼んでイベントを企画し、子供も楽しめるような大会にすることで大会の継続に繋がる。(他課職員の意見)
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	にしおマラソン(フルマラソン:令和4年3月開催予定)は車椅子の 카테고리を設け、また、市民先行エントリーとして一般より2週間程度先行受付を開始したが新型コロナウイルス感染予防対策のため多くの制約を受けることとなったため、今後は更に参加しやすいよう参加人数の工夫していく。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	88	事務事業名 (中事業名)		総合型地域スポーツクラブ育成事業					
				()					
予算科目	10	06	01	大事業	07	中事業	00	担当課名	スポーツ振興課
総合計画施策コード	351		事務開始年度		平成23年度		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため。
事業の対象 (誰(何)のために)	幼児から高齢者まで男女を問わず広く西尾市民
事業の概要 (具体的に何を)	スポーツ教室を中心に、継続してスポーツを親しむ環境を作る。スポーツイベントを実施しスポーツの楽しさを体感していただくことやスポーツ教室を行う上で欠くことのできない指導者の発掘や指導者の養成を行う。また、クラブやサークルが継続して活動できるように会場確保の調整を行う。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	3,376,000円	3,316,134円	3,205,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	1,453,290円	1,456,556円	
総事業費③(①+②)	4,813,512円	4,769,424円	4,661,556円	
総財源業内費 ③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	4,813,512円	4,769,424円	4,661,556円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-44,088円	R2 総事業費③の対前年度比率	-0.92%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要		金額
	補助金	つるしる1,425,000円、いっしき1,000,000円、吉良808,000円、さく83,134円		3,316,134円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	会員数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	2,400	人	2,400	人	2,400	人
	実績値	2,276	人	2,020	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	スポーツクラブ数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	5	クラブ	5	クラブ	5	クラブ
	実績値④	4	クラブ	4	クラブ	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		1,203,378円	1,192,356円		*****		

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和3年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	市民にとってスポーツ推進や地域交流を活発にするためには必要な団体であり、継続して永年にわたり補助していきます。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	◎
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	◎
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		◎		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	評価は適正であり、スポーツ振興や地域の活性化を進める上で有効な手段であると考えます。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	コロナ関係のため、会員数は減少しているが、運動を継続し市民の健康を守るためコロナ対策をして活動しています。趣味や運動は、人にとって必要不可欠である考えます。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし					
事業全体の課題	活動場所、指導者の確保、事務局スペース確保、クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保など様々な問題が累積しているため、クラブの継続に四苦八苦している。クラブの自主運営を目指していますが、いろんな意味でまだまだ補助が必要と思われれます。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	西尾市4クラブ、安城市2クラブ、岡崎市1クラブ、碧南市1クラブ、豊田市12クラブ、高浜市1クラブ、刈谷市6クラブ、知立市1クラブ、みよし市3クラブ、幸田町1クラブ
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	支援の継続、屋内体育施設の空調設備の充実、公民館等の文化施設の減免後納措置、新体育館の設計要望 (R元.9月総合型クラブ情報交換会) 鶴城体育館の卓球場や武道場の空調整備、新体育館の早期建設 (R2.10月総合型クラブ情報交換会)
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	クラブ間の情報交換会を開催して情報を共有し、クラブの自立に向けての発展を目指します。
--------	--------------------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	89	事務事業名 (中事業名)		体育施設管理事業 (ふれあい広場管理運営事業)					
予算科目	10	06	02	大事業	01	中事業	05	担当課名	スポーツ振興課
総合計画施策コード	352		事務開始年度	平成13年度		備考			
根拠法令等	西尾市体育施設の設置及び管理に関する条例						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	ふれあい広場の施設を適切に維持管理することにより、憩いに満ちたレジャーの場を提供する。
事業の対象 (誰(何)のために)	ふれあい広場を利用する人
事業の概要 (具体的に何を)	指定管理者制度を導入し、9年が経過した。指定管理者は、ふれあい広場の受付業務を始めプール、浴室、トレーニングルーム及びコミュニティ施設の維持管理を行っている。また、トレーニングルームの利用者への指導、プールの監視及び自主事業の様々な教室を行い、施設を使用する人の健康づくりに寄与している。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	143,909,422円	176,423,629円	130,263,000円	
事業にかかる人工	0.10人	0.10人	0.10人	
事業にかかる人件費②	718,756円	726,645円	728,278円	
総事業費③(①+②)	144,628,178円	177,150,274円	130,991,278円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	739,843円	456,229円	875,600円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	143,888,335円	176,694,045円	130,115,678円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	32,522,096円	R2 総事業費③の対前年度比率	22.49%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月から2カ月半の臨時休館し、その後の利用人数制限のため利用料金収入が大幅に減ったため、指定管理料の補償費を支出したことによる増。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	指定管理料(小学校水泳指導支援事業委託料含む)	121,334,528円	
	補償・補填及び賠償金	新型コロナによる臨時休館等による補償、指定管理料の消費税増税分の補填	33,802,754円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	ふれあい広場の利用人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	374,893	人	180,000	人	220,000	人
	実績値	355,331	人	134,323	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	健康づくり教室の開催					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	2,550	人	1,200	人	1,200	人
	実績値④	2,394	人	716	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	60,413円	247,417円		*****			

事業の委託状況	指定管理に指定	委託の内容	施設維持及び管理運営業務
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和3年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	平成29年度から5年間の指定管理期間が今年度で終わるが、現在、令和4年度から5年間の指定管理者を公募により選考するため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	△	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	◎
有効性	事業の目的は達成できているか	◎	公平性	受益者に偏りはないか	◎
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	◎		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎

評価の総合的なコメント	令和2年3月5日から6月15日まで新型コロナによる臨時休館を経て、コロナ過の感染予防対策を模索しながら、利用者が安心して利用できるように慎重に施設管理を行った。		
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める	
	(理由)	民間事業者の能力を活用し、安全でより効果的、効率的な管理運営を進め、利用者の視点に立ったサービスの向上が期待できるため。	
民間委託又は市民協働拡大の方向性	指定管理者制度を継続する。		
事業全体の課題	今後もコロナ過における利用人数の制限が続くことが予想される。利用料金収入が当初計画を下回る場合には、指定管理料の増額(補償割合)をどの程度とするのが妥当か。決算額や過去の利用料金収入をもとに指定管理者と協議し、弁護士と相談する必要がある。		

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市温水プール、K市温水プール、K0町温水プールは指定管理者制度を導入している。
---------------	------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	感染症の予防対策で更衣室等の換気をしっかりしてほしい。プールの繁忙期には利用人数制限をもっとしてほしい。(利用人数を減らしてほしい)(R3.8月)
-----------------	---------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	コロナ過でも安心して利用してもらえらる施設運営を指定管理者にお願いする。プールの繁忙期には、県内におけるコロナ感染状況を踏まえて利用人数を変動させるなど、感染予防対策を検討してほしい。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------